



学校教育目標「笑顔とあいがとうのあふれる五城の子ども

ありがとう6年生

3月1日(金)「6年生を送る会」を開きました。学年それぞれで工夫をこらし、いっぱい練習して、6年生への感謝の気持ちを声と体全部を使って表現していました。五城小らしい、笑顔があふれる会になりました。

卒業の日まで3週間を切りました。そして、学年修了まで3週間となりました。今日の全校朝会では、「別れは終わりではなく、新しい出会いの始まりなんだよ。4月の出会いをもっと素晴らしいものにするために、やり残したことがないように3月中にやっておきましょう。まだ3週間もありますよ。」と話をしました。

残りの日々をさらに充実させ、笑顔とあいがとうのあふれる締めくくりにいきます。

1年生に手を引かれ、6年生の入場です。1年前の入学式逆バージョンです。誇らしげな1年生の横で、とっても照れくさそうな6年生の顔が印象的でした。

プログラム1番は1年生。大好きな6年生のために、休み時間やおうちでも練習した「Bling-Bang-Bang-Born」のダンスです。感謝の言葉といっしょに全身でお祝いの気持ちを6年生へ届けました。

続く2年生も感謝の言葉とダンス(「最高到達点」)、と思っていたら、突然、釣り竿が登場。そこへ大きな魚が泳いできて釣り上げられてしまいました。何が起ころの?と見ていたら、釣り上げた魚をさばき、にぎりずしにして6年生へのプレゼントを作り上げてしまいました。(プレゼントの正体はマグネットでした)

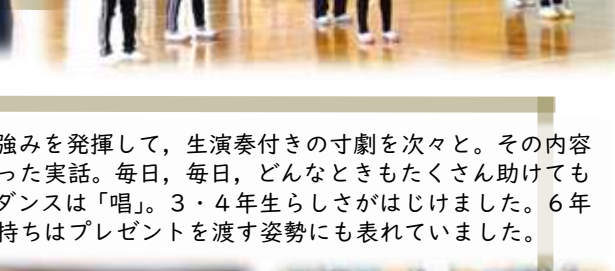
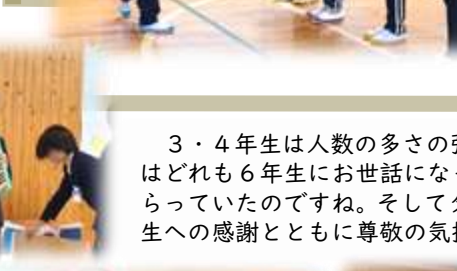
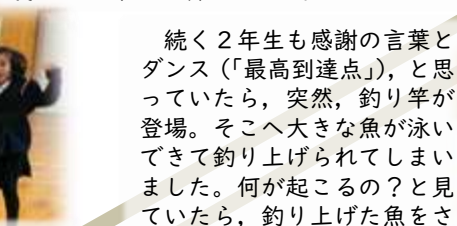
笑顔はじける1年生のダンス

かけ算を教えてくれて「ありがとう」運動場でこけた時保健室に連れていってくれて「ありがとう」...

3・4年生は人数の多さの強みを発揮して、生演奏付きの寸劇を次々と。その内容はどれも6年生にお世話になった実話。毎日、毎日、どんなときもたくさん助けてもらっていたのですね。そしてダンスは「唱」。3・4年生らしさがはじけました。6年生への感謝とともに尊敬の気持ちはプレゼントを渡す姿勢にも表れていました。

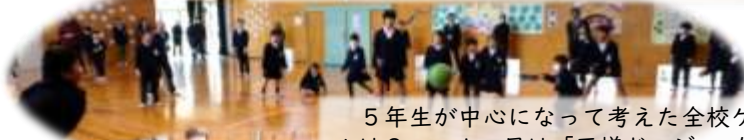


~6年生へプレゼント~
ひとつひとつ手作りで、心のこもったプレゼントが並びました。





5年生が準備した「6年生の思い出スライドショー」に見入る子どもたち。どの子の視線もくぎづけです。そのまなざしからは、大きな存在である6年生も自分たちと同じ学年のときがあったのだと確かめているようでした。そして、自分たちも大きくなったら目の前の6年生みたいになるんだ！という気持ちも感じられました。



5年生が中心になって考えた全校ゲームは2つ。1つ目は「王様ドッジ」。もちろん王様は6年生です。全力で守ります。



2つ目は「五城小〇×クイズ」。6年生にアンケートをして作ったクイズもあり、全員正解する簡単なものから、6年生でも間違えそうな難問まで、楽しいクイズをたくさん準備していました。そして、正解すれば全身で喜びを表す五城っ子たち。いつでも全力です。



プログラムが全部終わったとき、「ちょっと待ったー！」と6年生の声。プログラムにはないサプライズ企画でした。「ありがとう」（いきものがかり）の歌と詩「いきる」（谷川俊太郎）の朗読。正面を向き、大きく響き渡る声でした。最後まで全校のお手本を示してくれました。



最後は全校児童の拍手の中、花道を通っての退場です。入場のときとは違い、笑顔で胸を張り、堂々とした姿勢でした。



準備、進行、そして片付けまで5年生が作り上げた「6年生を送る会」。6年生と一緒に過ごした時間が一番長い5年生だからこの思い入れがたくさんつまっていました。そして、次は自分たちがリーダーになるんだ、という意気込みも表れていました。頼もしい10人です。

次は君たちに任せよう。



さすが！の1コマ



会が終わった直後の給食時には、6年生が全学年にお礼の手紙を持ってきました。受け取った3年生は、この盛り上がり。事前に準備したものではなく、会が終わって大急ぎで書いたことが内容からも分かります。

いつも下級生のことを気遣っている6年生、さすが！です。